

年頭のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

皆様方には、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は、7月に発生した九州北部の集中豪雨、9月には台風18号が日本列島を縦断し、各地で河川の氾濫、家屋の損壊など大きな災害が発生した年でした。こうした自然災害は、どの地域でも起こりうるもので、その怖さを痛感するとともに、防災対策・危機管理の重要性を改めて感じたいところであります。

国政におきましては、昨年10月に行われた衆議院議員総選挙で政権与党である自民党が圧勝しました。政権与党には、本町のような離島の振興策の着実な実行を期待したところでありますが、4月から施行された有人国境離島法によって、我々島民の悲願であった航路運賃の低廉化が実現したところであります。

今回は主に島民を対象とした運賃引き下げとなりましたが、島の観光・経済の活性化等には、交流人口の拡大は必要不可欠でありますので、全ての利用者が対象となるよう引き続き国に対し要望を行ってまいります。町政を振り返ってみますと、2月に西ノ島町議会議員選挙が行われ、新たな議会構成のもとで、議会活動が行われております。また、町制60周年にあたり7月に記念式典を行い、10月には、記念イベントとして「吉本新喜劇」をお招きし、町民の皆様と一緒に西ノ島町の還暦を笑顔でお祝いしたところであります。

西ノ島町長 升谷 健

その節目の年に、長年の課題でありました新庁舎の建設が動き出し、6月には、西ノ島町新庁舎整備検討委員会を設け、検討を重ねてまいりました。12月には、これまでの経過と今後の予定等について住民説明会を開催し、建設候補地についても説明をさせていただきました。今後、検討委員会から出される答申を尊重しながら新庁舎建設に向けて取り組んでまいります。

教育面では、新たな取り組みとして、中学生の基礎学力の向上を目指した町営塾の開講や児童生徒後の増加に伴せて、事業所の人手不足の改善を図ることを目的に、「しまつこ留学」を全国にPRし、子組の移住が予定されております。また、教育・文化の拠点施設としてコミュニティ図書館の建設を進めており、夏頃にはオープンを予定しておりますので、学習や余暇の充実、憩いの場として気軽にご利用いただきたいと思います。

本町の基幹産業の状況であります。漁業では、近年、まき網漁業が好調に推移しており、本年も引き続き豊漁が続くことを願っております。また、海藻類加工場の整備を行い、新たな雇用創出や未利用資源等を活用した新たな加工品開発に取り組んでまいります。

畜産においては、子牛の市場価格が高値水準で推移しておりますが、本年は現在建設中の新家畜市場が完成します。これを契機にさらなる畜産業の振興に努めてまいります。

観光面では、入込客数で若干の減少がございましたが、個人客や外国人観光客が増加傾向にあるなど明るい材料もあります。本年は、夕日や花をテーマにしたハイキングツアーなどの新規事業や積極的に誘致活動を行っているクルーズ客船も、外国船籍の客船が初入港することが決定しております。国内外の豪華客船が過去最多の9隻入港の予定となっております。こうしたことが新たな誘客に繋がることを大いに期待しているところであります。

このような取り組みを進めながら、本年も、第5次西ノ島町総合振興計画に掲げる「人の集う島へ」の実現に向け、町民の皆様と一体となって取り組んでまいりたいと存じますので、ご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

新しい年が、町民の皆様にとりまして、素晴らしい年でありますように祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。